

# お天気解説 アキラのズバツと

「秋と台風」

## 晩秋の時季に

令和6年10月25日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

10月も下旬になりましたが、23日は「霜降」。暦の上では霜が降り始めるころとされています。この時季に霜?!…あまりピンときませんよね。でも、都心では1909年と1937年、10月21日に霜が降りたことが観測されています。昔は寒かったんですね。目安として、最低気温が4℃以下になると霜が降りるとされています。ちなみに、現在の初霜の平年は12月23日ですが、50年ほど前の平年は11月22日でした。50年前の東京は、11月のうちに霜が降りたり氷が張ったりしはじめることが普通だったのです。それでも当時は「都市化の影響で高温化している」と言われていました。



写真 10月21日の富士山(筆者撮影)

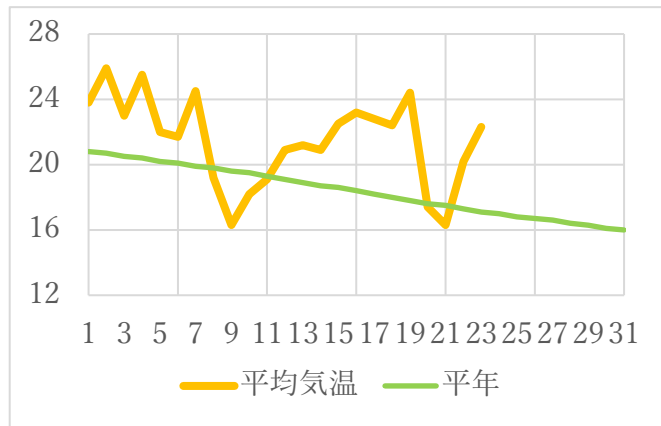


図 今年10月の日々の平均気温推移と平年値  
(気象庁データより作成)

さて、この10月、先週末は東京都心で真夏日30.1℃が観測されたし、富士山もまだ雪が降っていません(写真)。先週からキンモクセイの甘い香りが区役所付近でもやっと感じられるようになりました。この10月の気温(23日まで)をグラフにすると、左図のように高い状態です。この10月は平年を上回る日が多く、記録的な高温になるかもしれません。

2024年10月25日11時 気象庁 発表				
日付		今日 25日(金)	明日 26日(土)	明後日 27日(日)
東京地方		曇	曇	曇
降水確率(%)		-/-/10/10	0/0/10/20	40
信頼度		-	-	-
東京 気温 (℃)	最高	22	23	21 (19~24)
	最低	-	17	15 (14~17)

### 東京地方の週間天気予報

(気象庁HPから抜粋)

週末は雲が多い天気になりそうですね。日曜日は傘が必要かどうか確かめて投票所へどうぞ。

クリックすると気象庁による新しい情報が見られます。